

機能要件一覧

重要度：「必須」必ず搭載（未対応不可）、「推奨」原則搭載が望ましい、「希望」あれば便利な機能

※「推奨」「希望」の対応状況は評価の対象となる。

No.	業務区分		機能要件	重要度	参考帳票
(1)	利用者管理	ア	利用者はログインIDにより識別され、ログインIDとパスワードによる認証に成功した場合のみシステムの利用が可能であること。	必須	
		イ	利用者は、パスワードを任意に変更できること。なお、利用者がパスワードを忘れた場合にシステム管理者等によるリセットが可能なこと。	推奨	
		ウ	ログインIDにより、操作可能な業務を制限できること。	必須	
		エ	ログインIDごとに操作ログの記録ができ、ログの閲覧ができること。	推奨	
		オ	ログインIDは各学校栄養士・給食担当職員分、給食会・教育委員会分、給食センター栄養士・食数担当者分の他に、統一献立作成用のIDを小学校自校調理方式に11、特別支援学校自校調理方式に4、中学校自校調理方式に4、中学校共同調理場方式に9用意すること。	必須	
(2)	学校情報管理	ア	学校、学年、クラスごとの児童生徒数、支援級の交流児童数、担任数及び職員室等の職員数を管理できること。	必須	
		イ	学校、学年並びにクラスごと及び職員室等の牛乳必要数を管理できること。	必須	
		ウ	調理量の自動集計のための、学年別人数換算率を管理できること(小学校自校調理方式の献立は中学年用のため、低学年・高学年は0.8、1.2を、特別支援学校自校調理方式の献立は中学校用のため、幼稚部、小学校低学年、中学年、高学年に指定の係数を乗じて学年別の調理量を計算できること)。	必須	
		エ	学校情報は年度単位で管理でき、翌年度の学校情報(食数)を事前に登録できること。	必須	
(3)	業者情報管理	ア	発注先業者情報(業者コード、業者名、代表者名、住所、電話番号、FAX番号、口座情報、取扱メーカー、内税/外税等)を管理できること。	必須	
		イ	業者コード、業者名、電話番号、FAX番号等を一覧形式で出力できること。	必須	
(4)	食品情報管理	ア	「日本食品標準成分表」(2017版7訂)に収録されている全ての食品について栄養価等の情報を登録していること。また、更新のタイミングについては任意に選択で	必須	
		イ	必要とする食品を随時追加登録できること。	必須	
		ウ	食品名(3パターン表記)、食品群、6群分類、色区分、アレルギー、廃棄率、乾物換算率、吸水率を管理できること。3パターン表記とは、①献立作成情報を含んだ表記、②漢字を含めた表記(高学年用表記)、③ひらがな・カタカナによる表記(低学年用表記)を指す。	推奨	
		エ	契約形態区分(月/学期/年、随契/入札)を管理できること。	必須	
		オ	発注区分(1稼働日前/前日(1稼働日前又は当日)納品/当日納品/月次納品を管理できること。	必須	
		カ	見積区分(肉類、野菜類、一般物資等)を管理できること。	必須	
		キ	個付区分を管理できること。また、予備率については絶対数かつパーセンテージによる管理ができること。	必須	
		ク	見積書・発注書作成に必要な項目として、品温区分、規格、備考を管理できること。	必須	
		ケ	表示する栄養価の選択ができること。また、栄養価の追加表示、画面表示順の指定ができること。	推奨	
		コ	アレルギー項目は、特定原材料8品目以外にも選択した項目が表示できること。また画面表示順の指定ができること。	推奨	
		サ	調理量単位が管理できること。調理量の自動計算では、「四捨五入・切り上げ、切り捨て」の端数処理が選択可能で、かつ表示少数桁数の設定ができること。	必須	
		シ	発注量単位が管理できること。発注量の自動計算では、「四捨五入・切り上げ、切り捨て」の端数処理が選択可能で、かつ表示少数桁数の設定ができること。	必須	
		ス	同一食品において給食調理方式ごとに調理量単位、発注量単位、端数処理、表示少数桁数の設定ができること。	必須	
		セ	同一食品において給食調理方式ごとに発注業者、発注単価、納品時間、規格、予備率、メーカー・産地、発注書食品名、発注書備考を管理できること。	必須	

(4)	食数情報管理	ソ	食品ごとに単価の推移を時系列で出力できること。	推奨	
		タ	食品群の追加・変更ができること。	推奨	
		チ	加工食品は、構成する食品の重量を食品群別に管理できること。	推奨	
		ツ	食品コードを登録できること。	必須	
		テ	登録済の食品を複写して、新規に食品を登録できること。	必須	
		ト	食品検索は、食品群、食品コード、食品名(高学年用表記、低学年用表記)、契約形態、見積区分、個付区分で検索できること。また、あいまい検索も可能なこと。	必須	
		ナ	食品コード、食品名、栄養価、価格等を一覧形式で出力できること。	必須	
(5)	料理情報管理	ア	料理名(3パターン表記)、料理群、1人分可食量を管理できること。3パターン表記とは、①製品規格情報を含んだ表記、②漢字を含めた表記(高学年用表記)、③ひらがな・カタカナによる表記(低学年用表記)を指す。	必須	
		イ	料理を構成する食品は、食品群、食品名、食品コードを指定して食品マスタを検索できること。また、あいまい検索も可能なこと。	推奨	
		ウ	切り方、下処理、調理方法を管理でき、登録した内容を調理指示書に印刷できること。	必須	⑦
		エ	料理群の追加・変更ができること。	必須	
		オ	登録済の料理を複写して、新規に料理を登録できること。	必須	
		カ	料理検索は、料理群、料理コード、料理名(高学年用表記、低学年用表記)、調理方式、使用食品で検索できること。	推奨	
		キ	料理コード、料理名、栄養価、価格等を一覧形式で出力できること。	必須	
		ク	料理コードを調理方式ごと(小学校自校調理方式、特別支援学校自校調理方式、中学校自校調理方式、中学校共同調理方式)に管理できること。	必須	
(6)	カレンダー情報管理	ア	学校ごとに給食実施日、未実施日、自校献立日を管理可能とし、日々の食数集計時に自動反映すること。	推奨	
		イ	管理対象施設(学校給食センター、学校)ごとに稼働日を管理可能とし、稼働日以外の前日納品に対して、発注書作成時の納品日計算で自動反映すること。	必須	
		ウ	カレンダー情報の複写登録ができること。	推奨	
(7)	アレルギー管理	ア	アレルギー対応者リストのExcelフォーマットを作成し、システムからダウンロードできるようにすること。	必須	⑫
		イ	アレルギー対応者リストと献立に登録されたアレルゲン情報を突合し、個人アレルギー食品一覧表を出力できること。	必須	⑫⑬⑭
		ウ	アレルギー対応者リスト献立に登録されたアレルゲン情報を突合し、受け渡し確認表を出力できること。	必須	⑫⑬⑯
		エ	アレルギー対応者リストと献立に登録されたアレルゲン情報を突合し、個人カードを出力できること。	必須	⑫⑬⑮
		オ	個人カードに出力される献立は3つとすること(現在は2つ)。また、「代替ごはん提供」の表示については給食調理方式ごとに設定可能なこと(小学校・特支を非表示にできること)。	必須	⑮
		カ	アレルゲン情報は予めシステムに登録しておくアレルゲン品目のほか、自由に文字入力できる項目を有すること。	必須	⑫
(8)	献立情報管理	ア	給食調理方式ごとに献立の管理ができること。	必須	
		イ	献立は1か月単位で作成できること。ただし、8月分については9月分とまとめて1つの月として献立作成ができることとし、月報・日報・食品構成表・家庭配布献立原稿・アレルギー関係帳票等全ての帳票類が1つの月として出力できること。	必須	②-2
		ウ	献立の登録・修正画面は1日単位で表示し、料理マスタに登録されている料理を選択しながら作成できること。	必須	
		エ	料理選択の際は、特定のアレルゲンを含まない料理を検索できること。	推奨	
		オ	献立作成中に一人あたりの栄養価・価格を画面で確認できること。なお、その際の食材の価格について予定価格でも計算できること。また、作成した月単位での献立の合計予定価格等が出力できること。	必須	②-2
		カ	栄養価の充足率、PF比を画面に表示し、摂取基準の範囲内かどうか確認できること。	必須	
		キ	献立作成中にアレルゲンが含まれている料理、食品が確認できること。	推奨	
		ク	献立を作成しながら料理を修正でき、その日の料理として登録できること。また、ログインIDにより、修正した内容を料理マスタに反映若しくは別料理として追加登録できる管理対象施設(学校給食センター、学校)を制限できること。	必須	
		ケ	ログインIDにより、献立の登録や修正が可能な管理対象施設(学校給食センター、学校)を制限できること。ただし、登録や修正が不可の管理対象施設であっても、献立情報の参照や複写ができること。	必須	

(8)	献立情報管理	コ	1か月単位の献立原案をもとに実施日付を任意の日数分ずらして複写し、献立ごとに複数のローテーションの作成・管理ができること。	必須	
		サ	過去の献立を複写して献立を作成できること。	推奨	
		シ	複写の際は、料理に設定している可食量をそのまま複写する場合と、倍率指定して複写する場合の両方に対応できること。	推奨	
		ス	献立作成時の可食量入力については、低学年、中学年、高学年、中学生に各々可食量を入力可能であること。	推奨	
		セ	作成した献立の実施日付を入れ替えることができること。	推奨	
		ソ	販売終了食品など、変更したい食品を指定して、すべての料理、献立への置き換えができること。献立については、実施日の指定日以降のみを変更することを可能にすること。また、料理マスタに反映できること。	必須	
		タ	変更したい料理を指定して、すべての献立への置き換えができること。献立については、実施日の指定日以降を変更対象とすることができること。	必須	
		チ	献立で使用している食品のアレルゲン情報は、食品マスタで設定している情報を基本とするが、月によって納入品の変更によりアレルゲン情報が変わる場合、該当月のみの情報として、別途食品ごとのアレルゲン情報を管理できること。	必須	
		ツ	給食調理方式ごとに栄養価の基準値を設定できること。また、必要に応じ変更が可能なこと。	推奨	
(9)	食数管理	ア	学校情報管理で管理している情報をもとに、日々の食数・牛乳必要数を一括登録できること。また、学校ごとに管理しているカレンダー情報を参照し、給食未実施日を除いて一括登録できること。	必須	
		イ	給食費徴収システムの情報をもとに、食数を一括で登録できること。	必須	
		ウ	アレルギー対応食数の管理ができること。	必須	
		エ	学校、献立の種類、給食実施日ごとに食数を管理できること。	必須	
		オ	献立未登録の未来日の食数も登録できること。	希望	
		カ	クラス別に、児童生徒人数、担任の人数、牛乳必要数を管理できること。	必須	
		キ	学校ごとに、担任以外の職員数、検食数、その他食数(試食会等)を管理できること。	必須	
		ク	ログインIDにより、食数の登録や修正が可能な管理対象施設(学校給食センター、学校)を制限できること。また、ログインIDにより、食数の修正については、締め切り設定ができること。	必須	
		ケ	管理者権限を持つID(給食会職員等)にて、締め切り後も食数の修正が可能なこと。	必須	
		コ	管理者権限を持つID(給食会職員等)にて、学校が変更した内容を日次で確認できること。	希望	
		サ	日別・月別・学校別・クラスごとに食数一覧表を出力できること。ただし、8月分については9月分とまとめて出力ができること。	推奨	
		シ	日別・月別・学校別・クラスごとに牛乳必要数一覧表を出力できること。ただし、8月分については9月分とまとめて出力ができること。	推奨	
(10)	食材使用量計算	ア	献立ごとに食品ごとの調理量単位による総調理量の集計ができること。端数処理は食品情報管理に設定された管理対象施設(学校給食センター、学校)ごとの調理量単位、端数処理、表示小数桁数で集計できること。また、8月分については9月分とまとめて集計ができること。	必須	
		イ	ログインIDにより、総使用量集計操作が可能な管理対象施設(学校給食センター、学校)を制限できること。	必須	
		ウ	使用予定食材量について、管理対象施設(学校給食センター、学校)ごとに変更可能な食材については、修正ができること。また、変更可能な食材については給食調理方式ごとに設定ができること。	必須	
		エ	ログインIDにより、食材量修正が可能な管理対象施設(学校給食センター、学校)を制限できること。またログインIDにより、食材量の修正については、締切設定ができること。	必須	
		オ	管理者権限を持つID(給食会職員等)にて、管理対象施設(学校給食センター、学校)が変更した内容を日次で確認できること。	希望	
		カ	管理者権限を持つID(給食会職員等)においては、学校等では変更不可能な食材の食材量及び食材そのものの変更を可能とすること。また、発注締め切り後も発注量の修正が可能なこと。	必須	
		キ	変更可能な食材(一部の調味料)について、管理対象施設(学校給食センター、学校)で月ごとの1人分の総量を確認できること。	必須	
(11)	残食管理	ア	献立単位で残食量を入力し、残食率を求めることができること。	必須	

(11)	残食管理	イ	残食量は管理対象施設(学校給食センター、学校)での総量又は、学校単位でも管理できること。	必須	
		ウ	管理対象施設の供給総量の修正ができること。また供給総量を修正した場合、学校別供給量及び学校別残食率・総残食率の再計算ができること。	必須	
		エ	残食率は、給食日報・月報・食品構成表・栄養摂取表の摂取量算出に反映できること。8月分については9月分とまとめて算出できること。	必須	
(12)	見積管理	ア	契約形態(月/学期/年、随意契約/入札)、見積区分(野菜・肉・一般物資等)を指定して、見積依頼書を作成・印刷ができること。見積依頼書は一般競争入札を行う食材と物資選定委員会で決定する食材のリストをそれぞれ出力できること。	必須	
		イ	見積依頼書に印字する規格、メーカー・産地、備考等の情報を見積依頼書作成時に修正できること。	必須	
		ウ	給食調理方式ごとに見積依頼書が作成できること。その際、各学校等から食材量変更を反映して食材量を自動計算できること。また、任意の給食調理方式を組み合わせ、まとめた見積依頼書が作成・印刷できること。	必須	
		エ	小学校自校調理方式、特別支援学校自校調理方式及び中学校自校調理方式で使用する青果類については、食材1つに対して5つの地区ごとに必要数分を計算し、見積依頼書が作成できること。中学校共同調理場方式で使用する青果類については、食材1つに対して3つのセンターごとに必要数分を計算し、見積依頼書が作成できること。	必須	
		オ	見積依頼書に印字する使用予定量は、指定期間内の発注量を集計し、任意で修正できること。	必須	
		カ	ログインIDにより、見積管理が可能な管理対象施設(学校給食センター、学校)を制限できること。	必須	
		キ	見積依頼に対して、食品ごとに入札結果と単価反映開始日を入力できること。単価は日単位、週単位で変動するものもあるので、使用日・使用量と連動して、自動で請求金額が計算できること。	推奨	
		ク	入札結果に伴い、業者単位に契約内訳書が印刷できること。	必須	
		ケ	加工品等で個付けとする食材については、予備数及び予備率を入札・発注数に含めること。個付け品の予備数については、小学校では、低学年・中学年・高学年で各3個、中学校では、5個を予定している。	必須	
(13)	発注管理	ア	業者別・実施日別・食品別に発注量と納品日を集計して発注情報を作成・印刷できること。在庫品はまとめて発注するため、実施日を範囲指定でき、期間内での発注量と納品日を集計して発注情報を作成できること。	必須	
		イ	入札で決定した業者、単価、規格、メーカー及び産地の情報を発注書に反映できること。	必須	
		ウ	納品日、食品情報管理で設定している納品日をもとに算出できること。納品日が学校及び学校給食センター稼働日に該当しない場合は、食品情報管理の設定をもとに自動計算できること。	必須	
		エ	同一食品においても給食調理方式ごとに発注業者、発注単価、納品日時、規格、メーカー・産地、発注書食品名及び発注書備考を管理できること。	必須	
		オ	発注情報(発注量、発注業者、発注単価、納品日時、規格、メーカー・産地、発注書食品名及び発注書備考)を画面上で変更できること。	必須	
		カ	発注情報に任意の食品を追加できること。	必須	
		キ	業者別・納品日別・食品別に規格及び発注量等を出力できること。	必須	
		ク	調理方式ごとに学校又は給食センターに配送する食材を管理し、業者別・実施日別及び食品別に注文書を出力できること。また、給食センターは献立のブロック別に注文書・発注書が出力できること。	必須	
		ケ	納品日別に、検収記録簿を出力できること。中学校共同調理方式においては、1つのセンターで2献立(ローテーション)を調理するため、検収記録簿に献立の分類名を記載し、納品日ごとに一覧になるよう出力できること。納品時間が当日使用物資が午前7時～、翌日使用物資が午前11時～、午後13時～の1日3回あり、その納品時間の区分ごとに一覧に出力できること。また、食品に登録された納品時間の区分ごとに一覧に出力できること。	必須	
		コ	ログインIDにより、発注管理が可能な管理対象施設(学校給食センター、学校)を制限できること。	必須	

(14)	献立表	ア	月ごとに献立原案として、日別・料理別・食品別の使用量を出力できること。	必須	①
		イ	月ごとに内部用として、日別・料理別・食品別の可食量及び栄養価、発注予定量・発注単価等の情報を出力できること。	推奨	⑤
		ウ	月ごとに家庭用として、日別・料理別・食品別の可食量及び栄養価を出力できること。また、出力する食品名・料理名の文字種(高学年用表記、低学年用表記)を選択できること。	必須	①
(15)	アレルギー食品一覧表	ア	献立で使用している食品のうち、アレルギーを含む食品の情報を日別・料理別に出力できること。	推奨	⑰
(16)	食材一覧表	イ	献立で使用している食品名を日別・料理別・6群分類別に一覧で出力できること。	推奨	⑳
(17)	調理指示書	ア	日別に調理指示書出力用の調理方法の管理ができること。給食実施日を指定して調理指示書を出力できること。	必須	
		イ	アレルギー対応、配慮食対応等の指示書の管理ができること。給食実施日を指定して調理指示書を出力できること	必須	
		ウ	調理指示書には、日付、献立の分類名、総数、実施校数、予備数込み数、休止校、料理名、食品名、一人当たりの可食量、調理量、業者、規格、切り方、調理方法、食缶（空枠）、予備数込みの数の食品別使用量が記載されたものが1つの帳票として出力できること。	必須	⑦
(18)	栄養摂取表・食品構成表	ア	栄養摂取表（月報）を、管理対象施設(学校給食センター、学校)、給食実施月、残食率反映有無を指定して、日別・栄養素別に栄養価を出力できること。	必須	②
		イ	自校献立日の栄養摂取量を月別データに簡易に反映できること。	必須	②
		ウ	食品構成表を、管理対象施設(学校給食センター、学校)、給食実施月又は給食実施年度、残食立反映有無を指定して出力できること。	必須	③
		エ	自校献立日の各食品構成提供量を月別データに簡易に反映できること。	必須	③
(19)	学校報告関係帳票	ア	月ごとに入札及び物資選定委員会等において決定した物資の価格表を出力できること。	必須	
(20)	支払関係帳票	ア	給食実施日又は納品日を指定して、指定期間内の業者ごとの発注金額を集計して出力できること。	推奨	
		イ	業者別・食品別・月別に発注量及び発注金額を一覧形式で出力できること。	必須	
		ウ	実施月、契約形態、見積区分を指定し献立で使用する食品を一覧形式で出力できること。	必須	
		エ	献立で使用する食品の発注単価と発注業者を実施月、契約形態、見積区分を指定して食品ごとに一覧形式で出力できること。	必須	
(21)	消費税率管理	ア	消費税率及び地方消費税率を適用開始日・税率で管理できること。	推奨	
		イ	消費税率、軽減税率の2種類の税率を管理できること。また、食品毎に軽減税率適応対象有無を選択できること。	必須	
(22)	各種帳票出力	ア	帳票類は全て調理方式ごと及び学校、学校給食センターごとにExcelで出力できること。また、給食会の指定する帳票についてはスプレッドシートでも問題なく表示できること。	必須	
		イ	印刷用紙サイズは印刷時に任意で変更できること。	推奨	
		ウ	帳票は別紙にて指定した様式を参考に必要項目が出力できること。指定様式の帳票については、出力形式を同一にすること。	必須	
(23)	その他	ア	小学校自校調理方式、特別支援学校自校調理方式、中学校自校調理方式、中学校共同調理場方式の4つの統一献立を適切に管理できること。	必須	
		イ	統一献立ごとに献立ローテーションを適切に管理できること。	必須	
		ウ	小学校自校調理方式において、自校献立の実施日管理を行い、統一献立で使用する食材の適切な発注・納入が実施できること。	必須	
		エ	「月ごと」とあるものについて、8月分は9月分とまとめて対応（作成・集計・出力等）ができること。	必須	
		オ	献立確定後に、給食会が指定する学校において、「精米」と「無洗米」の食品コードを一括変換できること。	必須	
		カ	納入した食材の産地情報が登録できること。産地の種別は「市内産」「県内産」「県外産」とし、県内産は市内産を除けること。	希望	
		キ	委託炊飯業者に搬入した1箇月分の合計精米量が確認できること。また、委託炊飯校において、委託炊飯業者への月別発注書が印刷できること。	推奨	

帳票類例一覧

	No.	名称	指定/参考	Google Sheet対応
教育委員会	①	家庭用配布献立原稿	指定	必須
	② -1	月報	指定	必須
	-2	月報（8.9月・金額有り）	指定	必須
	③	食品構成表	指定	必須
	④	献立使用食品一覧表	参考	必須
	⑤	予定献立表	参考	必須
	⑥	日報	参考	必須
	⑦	調理指示書	参考	必須
	⑧ -1	食数一覧表	参考	任意
	-2	食数一覧表（センター）	参考	任意
	-3	実人数内訳表（学校別）	参考	任意
	-4	実人数内訳表（食種別）	参考	任意
	-5	実人数内訳表（日別別）	参考	任意
	-6	クラス別食数一覧表	参考	任意
	⑨	日別食品集計表	参考	任意
	⑩	在庫品集計表	参考	任意
	⑪	発注書	参考	任意
	⑫	アレルギー帳票出力マクロ	参考	任意
	⑬	アレルギー献立情報	参考	任意
	⑭	個人アレルギー食品一覧表 ※⑫に⑬を読み込ませて出力	指定	任意
	⑮	個人カード ※⑫に⑬を読み込ませて出力	指定	任意
	⑯	受け渡し確認表 ※⑫に⑬を読み込ませて出力	指定	任意
給食会	⑰	アレルギー食品一覧表	参考	任意
	⑱	検収表	参考	任意
	⑲ -1	日別残食量一覧（学校別）	参考	任意
	-2	日別残食量一覧（食種別）	参考	任意
	⑳	食品材料一覧表	参考	任意
	a -1	学校マスター一覧表（センター）	参考	任意
	-2	学校マスター一覧表（自校調理校）	参考	任意
	b	給食物資名別使用日・使用回数一覧	参考	任意
	c -1	入札月契約 見積依頼書	参考	任意
	-2	選定月契約 見積依頼書	参考	任意
	d -1	契約内訳書 入札月契約	参考	任意
	-2	契約内訳書 物資選定月契約	参考	任意
	e	学校報告用給食物資価格表	指定	任意
	f	青果類注文書	指定	任意
	g	（追加）使用日一覧表（果物）	指定	任意
	h -1	発注書 一般物資	参考	任意
	-2	発注書 青果	参考	任意
	i	缶詰・乾物・調味料類一覧表	参考	任意
	j	缶詰・乾物・調味料類配達日表	参考	任意
	k	給食物資明細兼給食物資代金内訳書	参考	任意
	l	見積書（青果）	指定	任意
	m	給食物資業者別集計表兼請求書内訳	参考	任意
	n	給食物資請求明細表	参考	任意
	o	日別一覧表	指定	任意
	p	給食物資（青果）品名価格表	参考	任意
	q	給食物資購入数量・金額集計表兼単価推移表	参考	任意